



「富士山百景」黄金富士

VOL. 2689

Rotary International

「健康に、明るく、行動しよう」

第2689回例会 2020.9.9

ソング「我等の生業」

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:岸本 泰次
 副会長:石井 誠
 幹事:滝 克芳
 副幹事:田村 洋



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

会長挨拶

岸本 泰次



こんにちは

今日は夜間例会で満月を見ながらの榮賀さんの事務所で、恒例のBBQで日本語学校の生徒を交え盛大に盛り上がる予定でしたが、コロナ禍のために変更になりました、残念です。

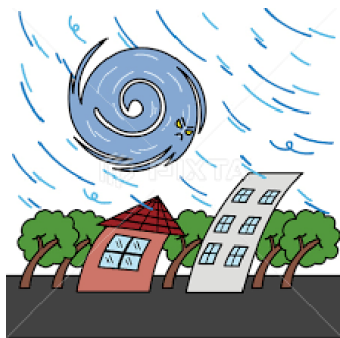
コロナ禍の状況が落ち着くまでは、マスク着用、3密には十分に気を付ける生活が常態化しております、これから秋冬を向かへ、インフルエンザの流行、と重なりコロナウイルスの感染再拡大に伴い注意が必要です。富士市でもクラスターが発生しています。

また史上最強クラスの大型で強い台風10号は九州全域と中国地方の一部を巻き込み大きな被害が出ております。全ての自然災害が大型化し、油断できません。

一方政治の方では自民党総裁選の告示、野党でも合流新党の代表選の告示と 国民は蚊帳の外です。

いま本当に私たちが必要なのは、コロナ禍の経済の立て直しが急務だと思います。

厳しい残暑も、来週頃からは、秋らしくなるようですが、まずは健康で明るく乗り切りたいものです。



親睦委員会

植田 眞晴

会員誕生日	吉野 榮司	S28.9.17
夫人誕生日	小出 みどり	9.11
	池田 由美子	9.16
	吉田 智子	9.20
入会記念日	吉野 榮司	H28.9.14
	瀬尾 究	H11.9.22
	田村 洋	H28.9.21



お誕生日おめでとうございます

★私のスマイル

吉田浩之君 暑中お見舞い申し上げます

残暑きびしいのでお体気をつけましょう。

植田眞晴君 本日は9月9日、救急の日です。

日本の経済もコロナの影響で救急ですが、菅(すが)先輩 今後の政治を宜しく願います。



出席報告

植田 眞晴

2689回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
34名	34名	13名	21名	62%

2687回 8/26確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
34名	34名	9名	25名	74%

例会プログラム予告

9月23日 クラブフォーラム (会員増強)

10月7日 卓話

ロータリー米山記念奨学会



勉学または研究のために来日し、わが国の正規の学校または研究機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

〈事業内容〉奨学金の支給／世話クラブとカウンセラー制度／ロータリアンと留学生との交流／国内外での学友会活動

ロータリー米山記念奨学会の歴史

平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本のロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省(現・文部科学省)を主務官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。(2012年1月に公益財団法人に移行)65年の歴史をもち、世界に類を見ない日本独自の多地区合同活動となっています。



2017年7月に財団法人として創立50周年を迎えました。

ロータリー米山記念奨学金

ロータリー米山記念奨学金は、(公財)ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業です。これは、ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように学費や生活費のすべてを保証するものではなく、私費留学生の費用の一部を補助する趣旨のものです。米山奨学金の対象は、世界のすべての国や地域から日本に留学している学生となっています。各地区の米山記念奨学委員会が指定校を定め推薦された学生を面接選考して合格者を決定します。2018学年度の奨学生は852人、事業費は14億円(2017-18決算)と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で20,396人(2018年7月現在)。その出身国は、世界127の国と地域に及びます。

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学金による経済的援助だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのが特長です。

奨学生の一人ひとりに地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。

奨学会に対する寄付金

普通寄付金

日本の全ロータリアンからクラブを通じて定期的にすする寄付。各クラブで会員一人当たりの金額を決定し、会員数分を半期に一度送金します。2010年1月分から普通寄附金分もクラブから指定書式のデータ提供により、申告用領収書が発行されます。
(2017年度平均：4,797円)

特別寄付金

個人・法人またはクラブから普通寄付金以外に任意で寄付されるもので、金額も時期も問いません。
ロータリーの関係者以外の一一般個人、法人、団体からも受けることができます。
(2017年度平均:11,271円)

寄付に対する表彰制度

	累計額	表彰名	表彰品
個人寄付への表彰	3万円	準米山功労者	なし
	10万円	第1回米山功労者	感謝状(青色)
	20万～50万円	(以降10万円毎に)第2回～第9回	感謝状(銅色)
	60万～90万円	米山功労者マルチプル	感謝状(銀色)
	100万～390万円	(以降10万円毎に)第10回～	感謝状(金色)+100万円毎にピンバッジ
	400万～	米山功労者メジャードナー	感謝状(金色) 100万円毎にクリスタル盾
法人寄付への表彰	5万円	準米山功労法人	なし
	50万円	米山功労法人	感謝状
	100万円	(以降100万円毎に)米山特別功労法人	感謝状と盾
クラブへの表彰	100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
	1000万円毎	達成クラブ	感謝状
	—————	クラブ創立記念特別寄付	盾(10万円以上の場合)

免税措置について

ロータリー米山記念奨学会は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には、所得税(個人)、法人税(法人)の税制優遇が受けられます。また、相続税も非課税となります。

2012年1月以降の寄付金から、従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のどちらか有利な方式を選択できるようになりました。